

土浦市民の飲料水に関する アンケート調査の集計報告

① アンケート調査対象

土浦市民及び土浦市内に職場を持っている人

② 調査方法

1. 市街地における調査：これは当会の会員及び有志の方々が、夫々の町内において、一般家庭を二軒おきに訪問し、アンケート用紙を手渡しして、回答を得ました。調査した町内は、市内のほぼ全域に及んでいます。

2. 職場調査：市内の職場のうち、学校関係、会社関係など十三職場を選び、職場に働く方々の協力を得て回答を得ました。(例外)市外の職場として茨大農学部

3. 街頭調査：計二回、一度は駅前、二度目は市民会館いずれの時も、覆ケ浦で採取した水を展示し「命の水を守る」というパンフレットを通行人などに手渡ししながら調査に対する協力を呼びかけました。アンケート対象人数 二、三六〇人

④ アンケート回答者

市街地	一、四一〇名	五七四%
内分け	森 城	七七〇名 三五八%
街頭	一、八〇〇名	六八%
市街地	一、二二〇名	七九%
内分け	森 城	六九八名 九〇%
街頭	一、三二名	七三%

⑤ 全回答者のうち

水道利用者	一、三五五名	六九五%
井戸利用者	四五〇名	二三〇%
両方利用者	一四七名	七五%

調査結果の考察

I 回収率について

平均八二%、市街地七九%という数値は、アンケート調査としては、かなり良い回収率といえますが、この事は土浦市民が飲料水の問題並びに覆ケ浦の汚染について、かなり高い関心を持っているということがいえると思います。

II 質問二に関して

イ。表1を見ると、飲料水について全市民の約七割が不安を感じているということがわかります。しかしこれを水道水のみ利用者についてみると、この割